

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月12日更新

事務事業名		総合センター運営事業					☐ マニフェスト 関連		☐ 全庁横断 課題関連		☐ 集中改革 プラン関連		
総合 計画 体系	政 策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり					所属部	教育委員会事務局	課長名	上原 哲也		
	施 策	20	生涯学習の推進					所属課	生涯学習課	担当者名	吉岡 麻理沙		
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設（環境）の整備					所属班	生涯学習班	（内線）	1516		
予算科目		会計 一般	款 10	項 5	目 2	事業連番 10795	法令 根拠	合志市総合センター「ヴィーブル」条例			成果優先度評価結果	⑫	
												コスト削減優先度評価結果	⑥
終了、開始年度		☐ 22年度で終了 ☐ 22年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	総合センター施設を有効利用する事業平成7年11月に総合センターが開館し、県内屈指の総合施設であり、大きな大会やイベントの開催が可能であるため、各団体への貸し出しが始まった。少しでも早めに会場を押さえたいため、各団体からの申込み競争がエスカレートする傾向にあったが、文化会館予約については抽選方式を取り入れたこともあり、以前よりも緩和された。
【業務の流れ】	総合センター施設を、利用規約に則り市民へ貸し出し、利用していただく。
【主な予算費目】	正職員、嘱託職員の人件費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	現在、窓口のみの予約受付しかできないため、インターネットからの予約ができるようにしてほしいとの声がある。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)		23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
団体(スポーツ、文化関係)へ対して、各種スポーツ大会や、文化行事の目的で施設の貸し出しをおこなった。		団体(スポーツ、文化関係)へ対して、各種スポーツ大会や、文化行事の目的で施設の貸し出しをおこなう。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 一般団体数	件	日直手当がなくなったための減
→ イ		
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)	
市民及び市民以外の施設利用者	→ ア 人口	人
	→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)	
総合センター施設を有効に活用する。	→ ア 学習に親しむ施設が整っていると思う市民の割合	%
	→ イ スポーツに親しむ施設が整っていると思う市民の割合	%
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
・総合センター施設を有効に活用するため、各施設の貸し出し業務を適切に行い、市民に学習・スポーツに親しむ機会・場所を提供する。・施設の拡充等困難な状況であり、ニュースポーツなど新しい企画などでの啓発により、従来の施設を周知することを条件として目標値を微増で設定		

(2)各指標・総事業費 の推移				単位	20年度 実績(決算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	24年度 予定	25年度 見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度	
① 活動指標		ア	件		8,404	8,464	8,460	8,403	8,470	8,480	8,490		
② 対象指標		ア	人		54,532	54,856	55,500	55,828	56,000	56,500	57,000	(期間限定複数年度のみ記載)	
③ 成果指標		ア	%		73.6	74.8	75	63	76	77	78		
		イ	%		72.9	74.5	75	63.2	76	77	78	0	
投 入 費 量	業 務 費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円									
			都道府県支出金	千円									
			地方債	千円									
			その他	千円									
			繰入金	千円									
			一般財源	千円	4,852	4,883	4,932	4,322	4,439	4,957	4,957		
	人 件 費	業 務 費	財 源 内 訳	(A) 事業費計	千円	4,852	4,883	4,932	4,322	4,439	4,957		4,957
				(A)のうち指定経費	千円	0	0	4,736	3,807	3,822	0		0
				(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0		0
				正規職員従事人数	人	14	14	14	2	14	14		14
				延べ業務時間	時間	632	632	632	400	632	632		632
				(B)人件費計	千円	2,528	2,515	2,515	1,648	2,603	2,603	2,603	
トータルコスト(A)+(B)			千円	7,380	7,398	7,447	5,970	7,042	7,560	7,560			

事務事業名	総合センター運営事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部（SEE）

※原則は22年度の実績評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 例年と同様に、貸し出し業務を適切に行い、より一層のサービスの向上に努める。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 施設の貸し出し状況は、定期団体の利用もあり常に空きのない施設もあるが、それ以外の空いている施設については、利用の推進をしていかなければならない。また、使用者の希望の時間帯が集中するため、それ以外の時間帯に移動してもらうのは難しい。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 施設がある以上、貸し出しのニーズに応えることは当然であり、代替はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費は、嘱託職員の人件費と職員の日直手当であるため、削減はできない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 すでに正職員の関与は最小限となっており、これ以上の削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】 施設利用者には、すべて使用料負担をお願いしており、市外利用者の使用料は市内利用者の2倍と設置している。この水準が適正かどうかは検討の必要がある。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 市の公共施設である以上、行政での運営が適切である。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上		○																									
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												